

mont-bell

スローロープ 22m

THROW ROPE 22m

この度は「スローロープ 22m」をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。

本製品は、リバーカヤック・シーカヤック・ラフトボートなどウオータースポーツに欠かせないレスキューギアです。

浮力体の入ったスタッフバッグの中に水に浮く22mのポリプロピレン製ロープが収納されています。別売のガイドベルトに装着することも可能です。

ご使用前に本説明書をよくお読みいただき、部品等の確認をしてください。

なお、ご不明な点などございましたら、販売店もしくは(株)モンベル カスタマー・サービスまでお問い合わせください。

本説明書は大切に保管してください。

■基本操作方法 本説明書をよく読んでからご使用ください。

1. バッグのドローコードをいっぱいまでゆるめて、中のロープが出やすい状態にし、投げる手でバッグの口全体を握り、反対の手でロープをしっかり握ります(図1)。この時にあらかじめ3~4m程ロープを引き出しておく、急な力が掛かっても余分にロープを繰り出すことができます。決してループの中に手首を通したりしないでください。いざという時に素早くロープを手放すことができません、たいへん危険です。



図1

2. しっかりと踏ん張れるような足場と遭難者を引き上げられる安全な岸が下流にあることを確認し、バッグの口全体を握るようにして遭難者に向かって投げます(図2)。投げる前には遭難者に呼びかけるなどして、救助者の意図を伝える必要があります。緊急の場合をのぞいて原則として救助者が上流の遭難者に向かって投げます。上流から遭難者を引っ張ると、遭難者が水をかぶって呼吸ができなくなる場合があります。そのような場合には遭難者がロープを背負うようにして引かれる方向に対して背中を向けることで呼吸を確保できます。

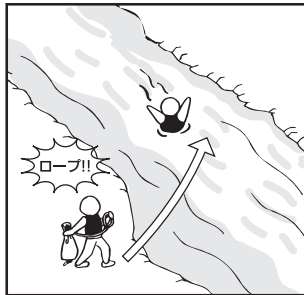


図2

3. 万一、一投目で失敗した場合にはロープをたぐり寄せ、素早く二投目を投げなければなりません、これら一連の動作を的確に素早く行う必要があります。遭難者に確実にバッグをキャッチさせるコツは遭難者より幾らか下流に落とすつもりで投げることです。遭難者より上流にそれてバッグが着水した場合、遭難者が自ら泳いでバッグをキャッチすることは困難ですが、下流に向かって泳ぐことは比較的容易なためです。遭難者やボートがスタックしている場合は上流側に向かって投げます。

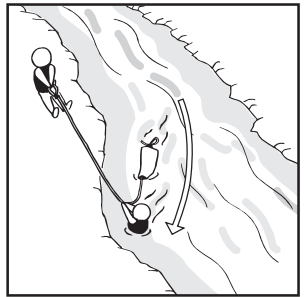


図3

4. 遭難者がバッグをキャッチしたことを確認したら、下流の安全な岸に振り子のように導きながら着岸させます(図3)。もし救助者が安定した足場を確保できず、遭難者を支えきれないような場合は立ち木などを利用するか、複数の救助者で作業に当たります(図4)。ただし、ロープが岩のエッジに当たったり、極端な摩擦が生じたりしないように十分な注意を払ってください。

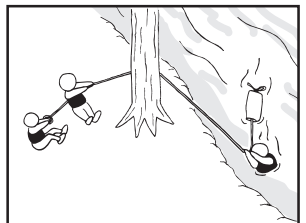


図4

5. ロープを再びバッグに収納する際は、次に投げるときにロープがスムーズに繰り出すようにしなければなりません。根元から少しずつ送り込むようによじれを修正しながら収納してください。

■安全上の注意 必ずお読みください



危険

人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です。

- 救助者および遭難者ともにロープを身体に結びつけたり、立ち木などに固定することは絶対にしないでください。いざという時にはすばやくロープを手放せるようにしないと二次遭難を招く危険性があります。
- すぐ下に瀬があり、遭難者が確実にバッグをキャッチできない場所などでは投げないでください。瀬の中でロープが絡まり、遭難者を危険な状況に陥れる可能性があります。
- クライミングや懸垂下降を目的としたご使用は絶対にしないでください。
- 使用方法をご理解いただき、スムーズに操作できるように十分練習をしてください。

■アフターサービス

お買い求めいただきました本製品は万全を期して製造しておりますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店、もしくは弊社までご連絡ください。製造上の欠陥による不具合の場合は無償で交換させていただきます。なお、修理・交換等の判断は弊社が検査し、裁量させていただきます。

以下のような原因での破損、不良につきましては保証いたしませんのでご了承ください。

- 本製品の誤った使用方法によるもの。
- メンテナンス不良・経年変化による素材劣化。
- 乱暴な取り扱いによるもの。
- その他、製造上の欠陥以外の原因によるもの。

■アフターケア 間違ったメンテナンスや保管方法は商品の寿命を縮めます。使用後や保管時は以下の点を参考にしてください。

お手入れ方法・保管方法

- ご使用後は真水ですすいで、砂や汚れを洗い流してから風通しの良い場所で陰干しをしてください。
- 汚れがひどい場合はぬるま湯と洗剤で洗ってください。その場合はすすぎを十分に行い、洗剤が残らないようにしてください。
- ロープに大きな傷や結び目に緩みがないかもチェックしてください。
- ロープが古くなったり破損がみられる場合は、交換用ロープとして、別売のフローティングロープ(#1121191)をご購入ください。